

平成 31 年・令和元年（2019 年）の八丈島の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2019 年の発表履歴

2019 年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）
-------------	-----------------------------

2019 年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

楊梅ヶ原^{ようめがはら}監視カメラ（西山山頂の南南東約 5 km）による観測では、西山山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 2 - 、図 3）

八丈島周辺を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 2 - 、図 4）

GNSS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

この資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧できます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaietsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』『数値地図 25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号 平 29 情使、第 798 号)。



図 1 八丈島 山頂部の状況 (12月28日 楊梅ヶ原^{ようめがほら}監視カメラによる)

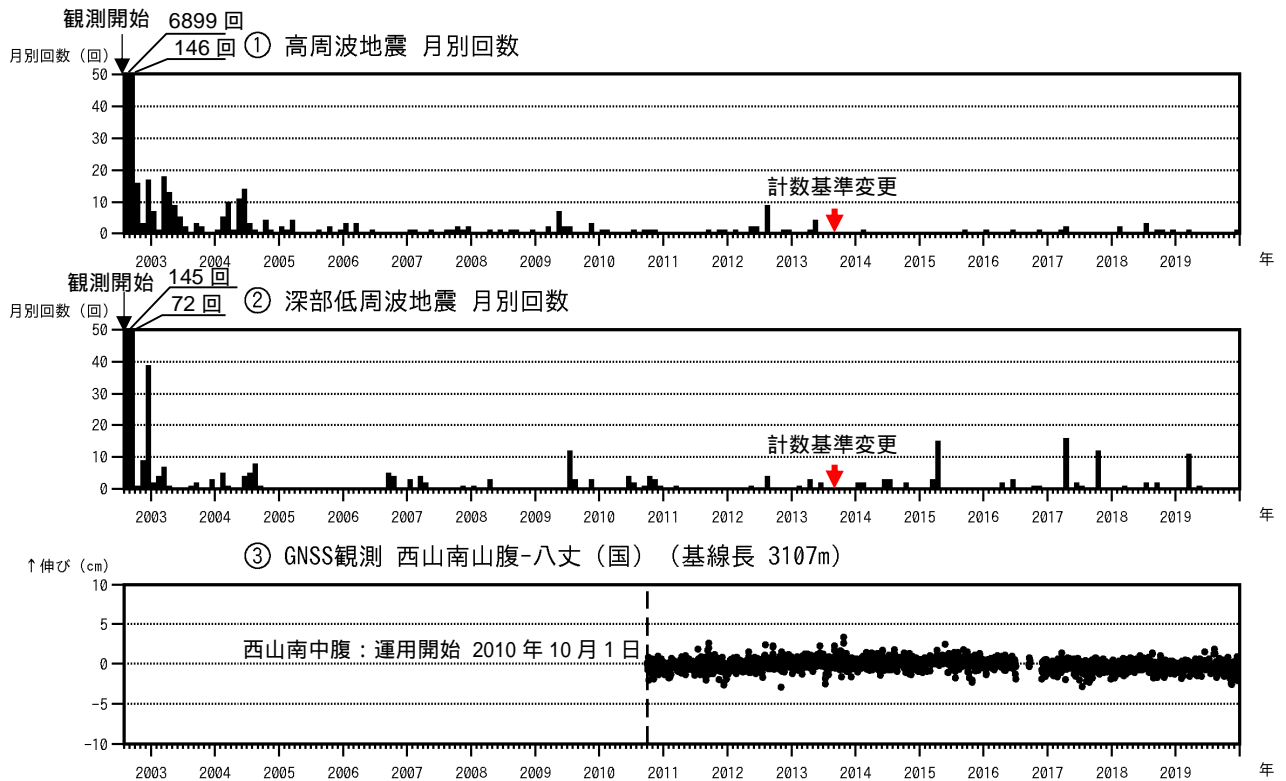


図 2 八丈島 火山活動経過図 (2002年8月13日～2018年12月31日)

- 、 地震回数の計数基準は以下のとおり
 - 2013年8月31日まで八丈島三根 振幅 $5 \mu\text{m/s}$ 以上、S-P 時間 3 秒以内
 - 2013年9月1日 から西山南東山麓 振幅 $2 \mu\text{m/s}$ 以上、S-P 時間 3 秒以内
- (国)：国土地理院、図4の基線 に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

- ・ 地震活動は静穏な状態で経過しています。
- ・ GNSS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

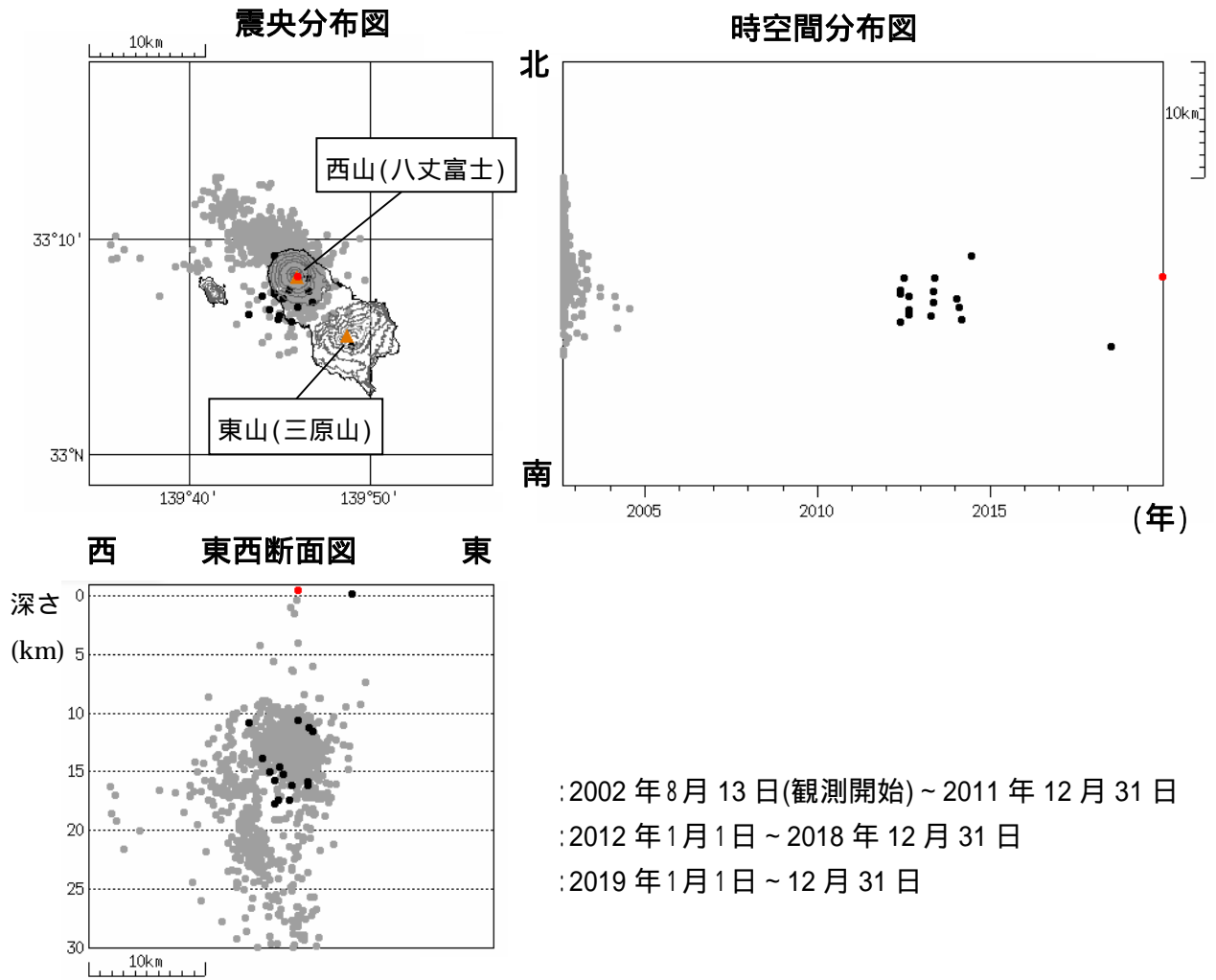


図3 八丈島 震源分布図(2002年8月13日~2019年12月31日)
 今期間発生した火山性地震の震源は、西山(八丈富士)直下の0km付近に求まりました。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(防) 防災科学技術研究所、(都) : 東京都

図 4 八丈島 観測点配置図

GNSS 基線 は図 2 の に対応しています。

表 1 八丈島 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高		観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)	(m)	(m)		
地震計	八丈島三根	33° 06.92'	139° 48.83'	70	0	1996.10. 8	短周期及び広帯域地震計	
	西山南東山麓	33° 07.32'	139° 46.77'	151	-48	2010. 8. 9		
	八丈島樫立	33° 04.34'	139° 47.86'	170	0	2009. 4. 2		
	西山南西中腹	33° 08.04'	139° 45.47'	595	-2	2016.12. 1	広帯域地震計	
傾斜計	西山南東山麓	33° 07.32'	139° 46.77'	151	-48	2011.4.1		
	西山東中腹	33° 08.41'	139° 46.34'	574	-15	2016.12.1		
空振計	西山南東山麓	33° 07.32'	139° 46.77'	151	2	2010. 8. 9		
GNSS	西山南中腹	33° 07.89'	139° 46.04'	510	3	2010.10.1		
監視カメラ	楊梅ヶ原	33° 06.28'	139° 47.08'	70		2010. 4. 1		